

資 料

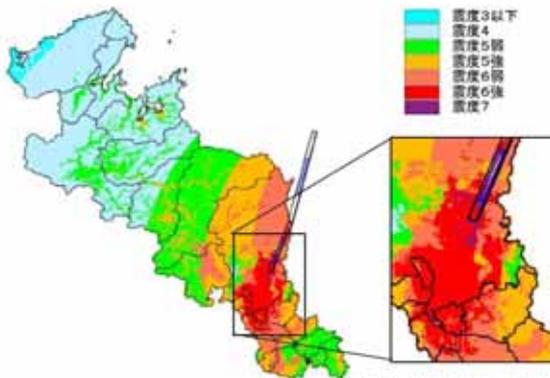
1 京都府第二次地震被害想定調査結果の概要

京都府 2008

花折断層帯(マグニチュード7.5)

断層の位置:京都市左京区～滋賀県高島市 断層タイプ(変位):右横ずれ断層

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。



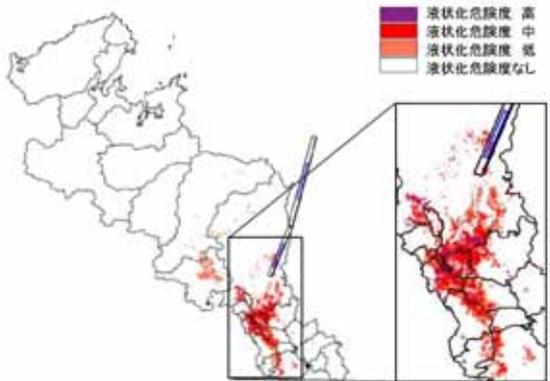
注)京都市域は京都市(2003)の成果を表示

【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度7は、京都市北区・上京区・左京区・中京区・東山区・山科区・下京区の一部に分布する。
- ・震度6強は、京都市の市街地から宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町の一部にかけて分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・京都市南部から河川(桂川、宇治川、木津川)沿いで液状化危険度が高い。



注)京都市域は京都市(2003)の成果を表示



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数		要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
		(人)	重傷者数 (人)					
京都市	5,410	59,600	10,500	36,360	295,500	118,490	46,800	15,290
山城広域振興局管内	1,440	13,270	1,540	7,400	161,880	25,940	54,390	3,090
南丹広域振興局管内	90	1,490	100	630	20,640	3,650	11,140	180
中丹広域振興局管内	0	10	0	0	2,730	290	1,620	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	340	70	260	0
府計	6,940	74,370	12,140	44,390	481,090	148,440	114,210	18,560

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

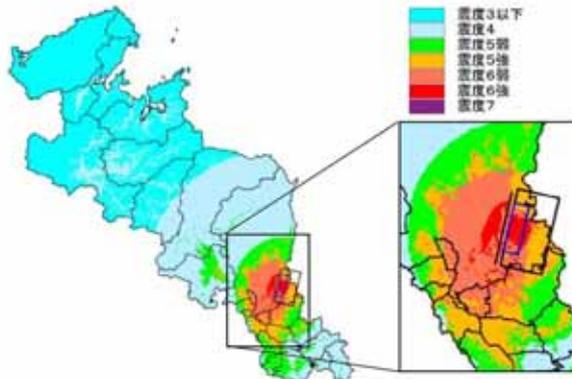
- 山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村
- 南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町
- 中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市
- 丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

京都府 2008

桃山-鹿ヶ谷断層(マグニチュード6.6)

断層の位置:京都市伏見区～京都市左京区 断層タイプ(変位):東側隆起

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

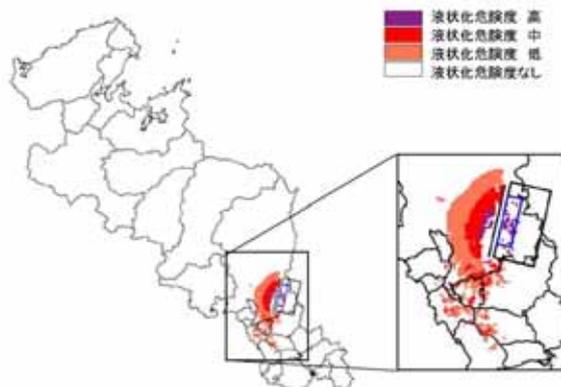


【震度予測結果】(左図・上段)

・震度 6 強は、京都市上京区・左京区・中京区・東山区・山科区・下京区・南区・伏見区の一部に分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

・京都市東山区・下京区の一部で液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)		要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
		軽傷者数	重傷者数					
京都市	2,200	20,990	2,130	11,030	156,020	49,110	23,020	1,930
山城広域振興局管内	130	2,600	150	1,110	37,840	3,660	14,790	180
南丹広域振興局管内	0	10	0	0	630	40	350	0
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	2,330	23,600	2,280	12,140	194,490	52,810	38,160	2,110

※編数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

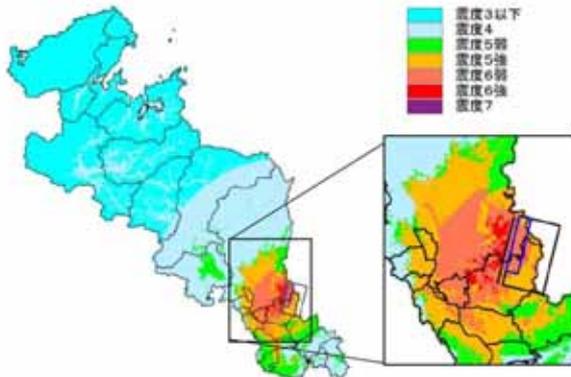
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

黄檗断層(マグニチュード6.5)

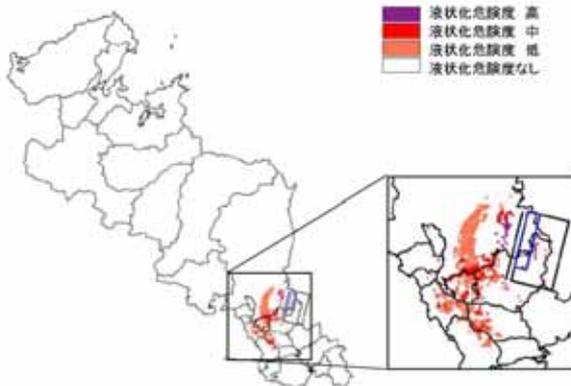
断層の位置: 京都府宇治市～京都市山科区 断層タイプ(変位): 東側隆起

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。



【震度予測結果】(左図・上段)

・震度 6 強は、京都市東山区・山科区・伏見区、宇治市の一部に分布する。



【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

・京都市山科区の一部で液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
京都市	500	9,270	660	4,370	41,110	10,800	5,100	550
山城広域振興局管内	300	3,910	320	1,850	52,680	6,490	20,190	590
南丹広域振興局管内	0	0	0	0	310	20	150	0
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	800	13,180	980	6,220	94,100	17,310	25,440	1,140

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

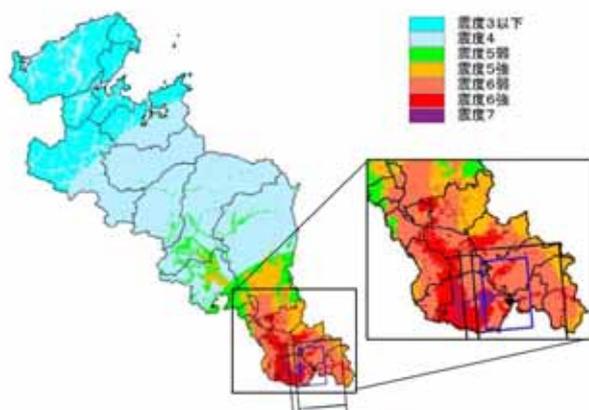
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

奈良盆地東縁断層帯(マグニチュード7.5)

断層の位置: 奈良県桜井市～京都府城陽市 断層タイプ(変位): 東側隆起

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

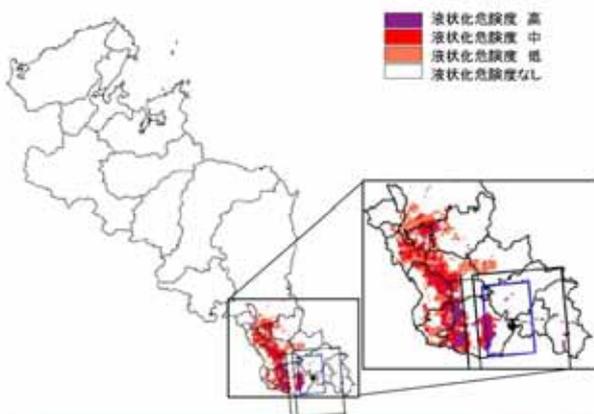


【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度 7 は、木津川市、井手町の一部に分布する。
- ・震度 6 強は、府南部の木津川に沿って広く分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・府南部の木津川沿いで液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
京都市	130	5,280	160	2,040	83,410	7,250	35,230	100
山城広域振興局管内	1,760	14,360	1,840	8,680	163,240	38,590	53,250	6,990
南丹広域振興局管内	0	60	0	10	1,820	160	1,030	0
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	70	10	20	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	1,890	19,700	2,000	10,730	248,540	46,010	89,530	7,090

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

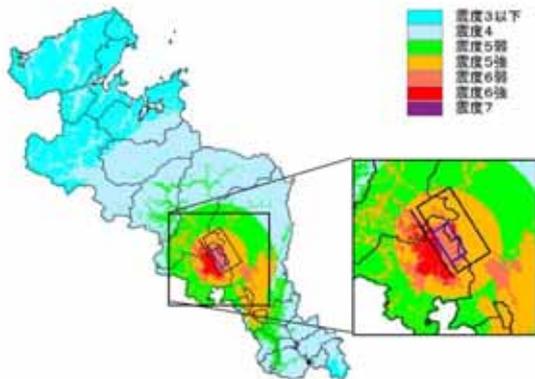
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

亀岡断層(マグニチュード6.7)

断層の位置:京都府亀岡市～京都府南丹市 断層タイプ(変位):東側隆起

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

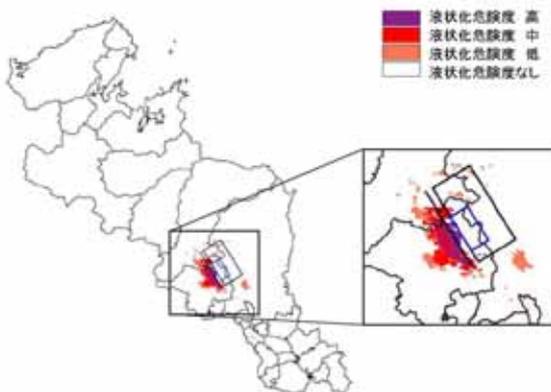


【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度7は、亀岡市の一部に分布する。
- ・震度6強は、亀岡市の平野部と南丹市の一部に分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・亀岡市の平野部で液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	要救助者数	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)	
			重傷者数 (人)					
京都市	120	3,960	130	1,380	64,750	5,490	27,620	0
山城広域振興局管内	0	340	0	110	6,780	380	2,590	0
南丹広域振興局管内	290	2,640	320	1,510	30,470	7,600	12,650	1,340
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	20	0	10	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	410	6,940	450	3,000	102,020	13,470	42,870	1,340

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

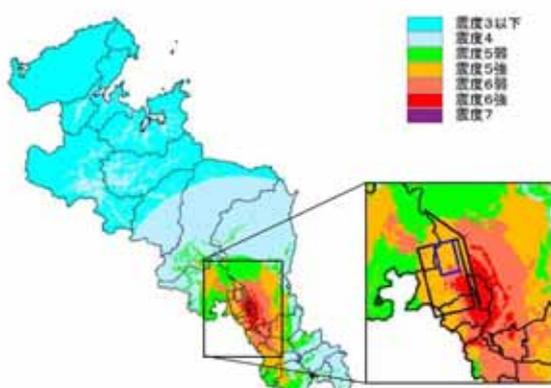
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

檜原-水尾断層(マグニチュード6.6)

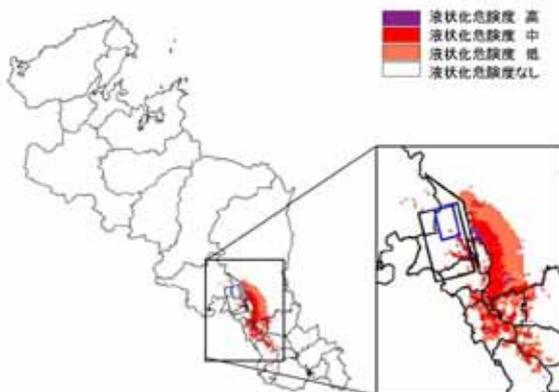
断層の位置: 京都府長岡京市～京都市右京区 断層タイプ(変位): 西側隆起-左横ずれ

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。



【震度予測結果】(左図・上段)

・震度 6 強は、京都市南区・西京区・伏見区、向日市、長岡京市、八幡市、大山崎町の一部に分布する。



【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

・京都市西京区の一部で液状化危険度が高い。



被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
京都市	700	11,110	960	5,450	118,240	13,510	8,340	870
山城広域振興局管内	630	6,320	670	3,400	81,870	10,750	26,630	1,120
南丹広域振興局管内	10	360	10	120	6,000	660	2,980	40
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	1,340	17,790	1,640	8,970	206,110	24,920	37,950	2,030

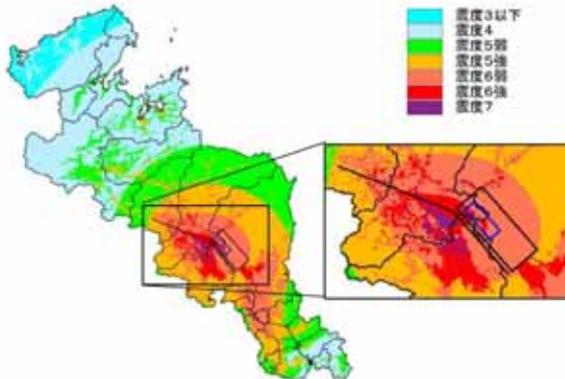
※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村
 南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町
 中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市
 丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

殿田-神吉-越畑断層(マグニチュード7.2)

断層の位置: 京都府船井郡京丹波町～京都府亀岡市～京都市右京区 断層タイプ(変位): 左横ずれ

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

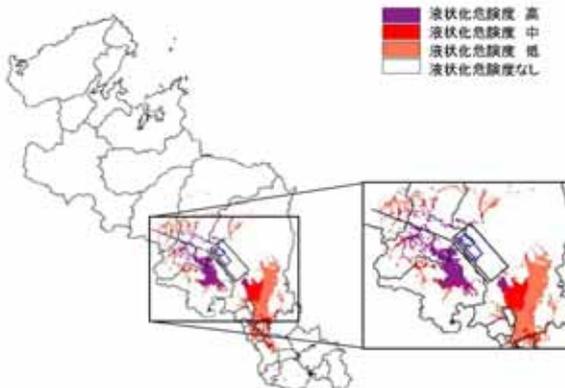


【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度 7 は、亀岡市北部と南丹市南部の一部に分布する。
- ・震度 6 強は、亀岡市北部と南丹市南部の平野部に分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・亀岡市北部と南丹市南部の平野部で液状化危険度が高い。



京都府内の行政界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	要救助者数	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)	
			重傷者数 (人)					
京都市	2,390	25,130	2,690	13,550	305,760	50,640	108,870	2,980
山城広域振興局管内	270	4,200	310	1,780	59,190	5,970	22,570	480
南丹広域振興局管内	750	5,570	860	3,630	57,690	20,540	21,810	5,110
中丹広域振興局管内	0	30	0	0	3,160	360	2,070	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	220	50	170	0
府計	3,410	34,930	3,860	18,960	426,020	77,560	155,490	8,570

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

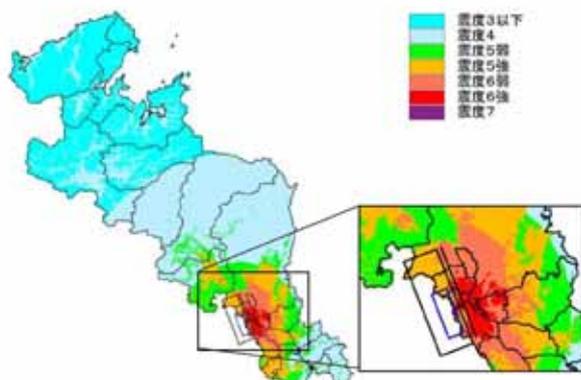
中丹: 福知山市、興鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

光明寺-金ヶ原断層(マグニチュード6.8)

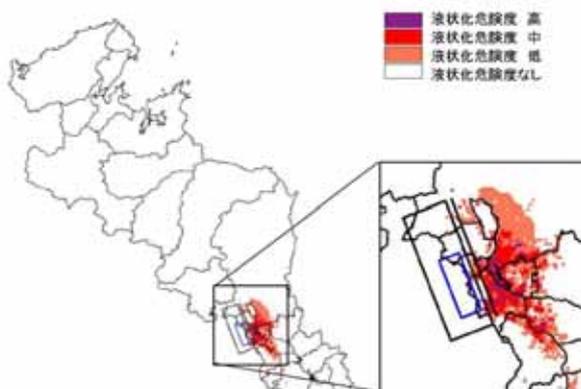
断層の位置: 京都府八幡市~京都市西京区 断層タイプ(変位): 西側隆起

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。



【震度予測結果】(左図・上段)

・震度 6 強は、京都市伏見区、長岡京市、八幡市、大山崎町、久御山町の一部に分布する。



【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

・京都市伏見区、八幡市の一部で液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
京都市	100	6,230	340	2,860	23,830	1,810	1,130	1,250
山城広域振興局管内	730	7,720	780	3,980	99,520	13,340	34,080	1,320
南丹広域振興局管内	0	230	0	60	4,130	420	2,250	0
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	830	14,180	1,120	6,900	127,480	15,570	37,460	2,570

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

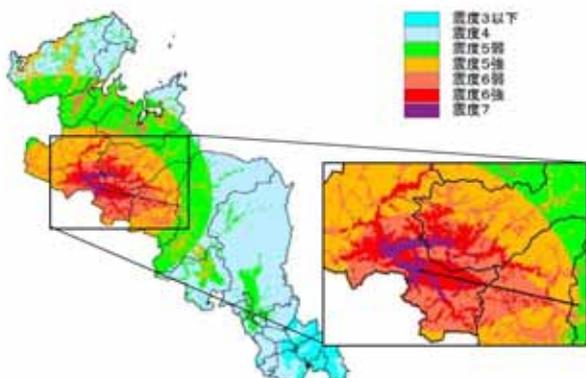
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

三峠断層(マグニチュード7.2)

断層の位置: 京都府福知山市～京都府船井郡京丹波町 断層タイプ(変位): 左横ずれ

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

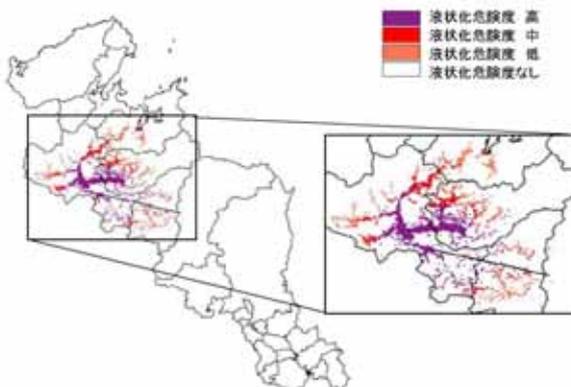


【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度7は、福知山市の中・南部と綾部市の西部に分布する。
- ・震度6強は、福知山市、綾部市、京丹波町の河川沿いに広く分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・福知山市の中・南部と綾部市の西部で液状化危険度が高い。



被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
京都市	0	0	0	10	780	60	250	0
山城広域振興局管内	0	0	0	0	170	10	30	0
南丹広域振興局管内	60	530	60	280	8,560	3,150	6,280	500
中丹広域振興局管内	1,060	6,850	1,240	5,500	75,290	32,920	29,350	6,830
丹後広域振興局管内	30	540	30	160	10,930	2,200	8,740	250
府計	1,150	7,920	1,330	5,950	95,730	38,340	44,650	7,580

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

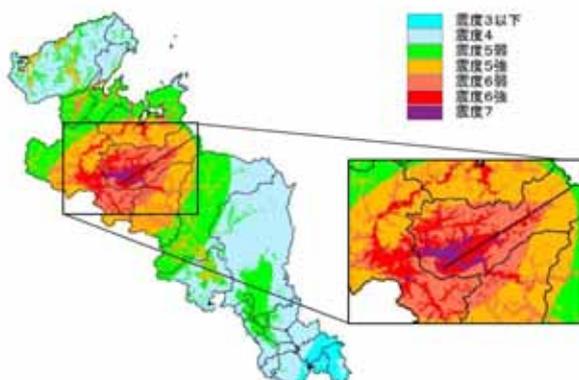
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

上林川断層(マグニチュード7.2)

断層の位置:京都府綾部市(西南部～東北部) 断層タイプ(変位):右横ずれ

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

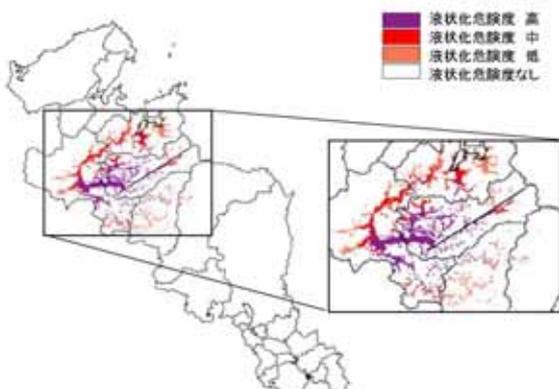


【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度 7 は、福知山市の南西部と綾部市の南西部の一部に分布する。
- ・震度 6 強は、福知山市、舞鶴市、綾部市、京丹波町の平野部に広く分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・福知山市、綾部市の平野部で液状化危険度が高い。



被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)	
								重傷者数 (人)
京都市	0	0	0	20	2,120	120	740	0
山城広域振興局管内	0	0	0	10	490	30	140	0
南丹広域振興局管内	50	530	50	250	8,700	2,920	6,540	550
中丹広域振興局管内	1,090	7,350	1,260	5,360	81,600	34,680	33,290	6,990
丹後広域振興局管内	20	410	20	130	8,580	1,740	6,890	150
府計	1,160	8,290	1,330	5,770	101,490	39,490	47,600	7,690

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

若狭湾内断層(マグニチュード6.9)

断層の位置: 日本海(小浜湾~若狭湾) 断層タイプ(変位): 左横ずれ

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。



【震度予測結果】(左図・上段)

・震度5強が、舞鶴市沿岸部に分布する(震度6弱以上は現れない)。



【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

・液状化危険度はない。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数		要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
		(人)	重傷者数 (人)					
京都市	0	0	0	10	1,710	150	570	0
山城広域振興局管内	0	0	0	10	280	20	90	0
南丹広域振興局管内	0	0	0	0	420	70	340	0
中丹広域振興局管内	0	60	0	0	2,750	270	1,400	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	240	60	210	0
府計	0	60	0	20	5,400	570	2,610	0

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和東町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

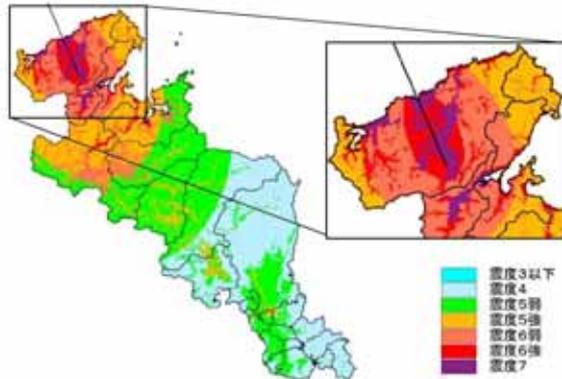
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

郷村断層帯(マグニチュード7.4)

断層の位置: 京都府京丹後市～丹後半島沖合 断層タイプ(変位): 左横ずれ

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

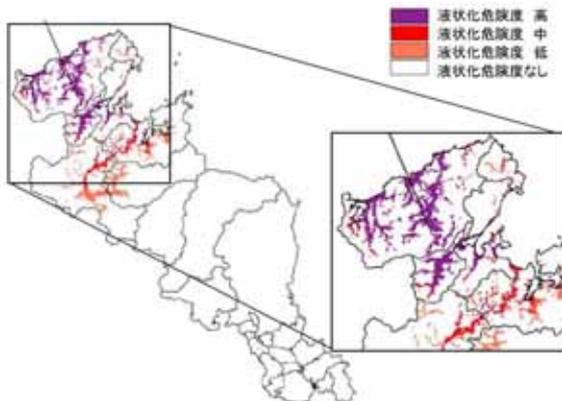


【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度7は、京丹後市の平野部と北部沿岸部及び与謝野町の平野部に広く分布する。
- ・震度6強は、宮津市、京丹後市、与謝野町の平野部に広く分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・宮津市、京丹後市、与謝野町の平野部で液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)	
								重傷者数 (人)
京都市	0	70	0	50	7,230	360	2,860	0
山城広域振興局管内	0	50	0	30	2,520	150	1,030	0
南丹広域振興局管内	0	150	0	30	3,930	650	3,110	0
中丹広域振興局管内	330	3,780	350	1,730	49,890	12,410	27,260	1,240
丹後広域振興局管内	1,850	8,620	1,950	7,420	85,830	63,040	26,350	15,090
府計	2,180	12,670	2,300	9,260	149,400	76,610	60,610	16,330

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

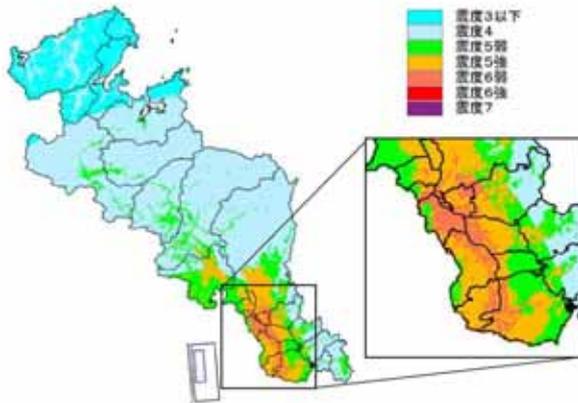
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

上町断層帯(マグニチュード7.5)

断層の位置:大阪府岸和田市～大阪府豊中市 断層タイプ(変位):東側隆起

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

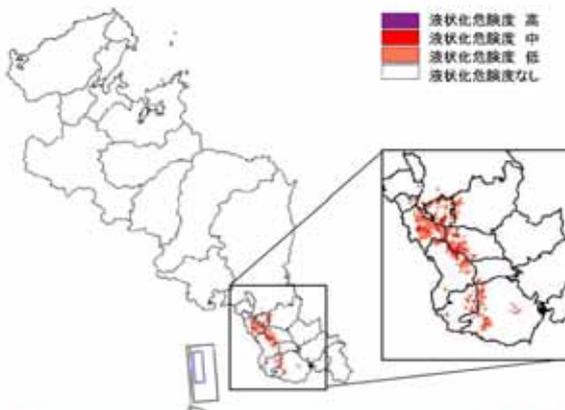


【震度予測結果】(左図・上段)

・震度 6 弱は、京都市伏見区から府南部にかけて河川沿いに広く分布する(震度 6 強以上は現れない)。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

・府南部の河川沿いで液状化危険度が中位である。



被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
京都市	10	1,160	20	400	25,430	1,400	11,010	20
山城広域振興局管内	80	2,440	80	800	35,580	3,230	15,780	330
南丹広域振興局管内	0	140	0	30	3,170	320	1,850	0
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	150	20	90	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	90	3,740	100	1,230	64,330	4,970	28,730	350

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

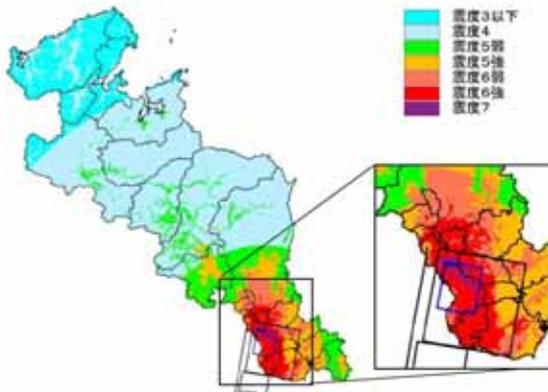
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

生駒断層帯(マグニチュード7.5)

断層の位置:大阪府羽曳野市～京都府八幡市 断層タイプ(変位):東側隆起

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

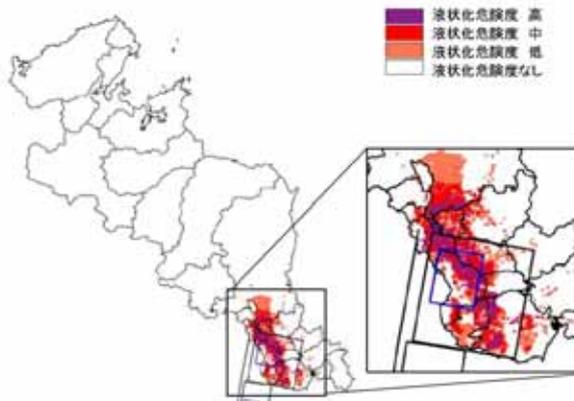


【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度7は、城陽市、八幡市、京田辺市の木津川沿いに分布する。
- ・震度6強は、京都市南西部と木津川沿いの低平地部に広く分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・京都市南西部と木津川沿いの低平地部で液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)		要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
		軽傷者数 (人)	重傷者数 (人)					
京都市	490	9,410	550	4,420	133,440	14,720	53,330	440
山城広域振興局管内	2,890	20,690	2,940	14,020	228,520	49,890	67,510	7,110
南丹広域振興局管内	0	250	0	50	5,080	600	2,850	0
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	130	20	70	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	3,380	30,350	3,490	18,490	367,170	65,230	123,760	7,550

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

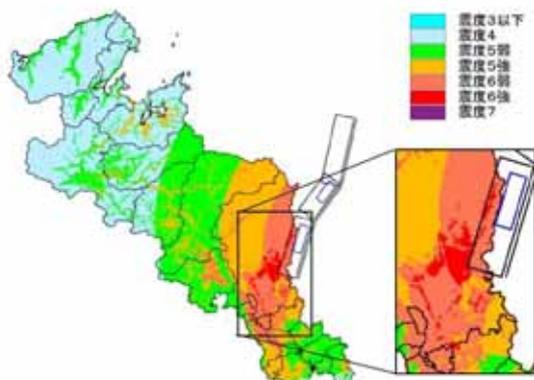
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

琵琶湖西岸断層帯(マグニチュード7.7)

断層の位置:滋賀県大津市～滋賀県高島市 断層タイプ(変位):西側隆起

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

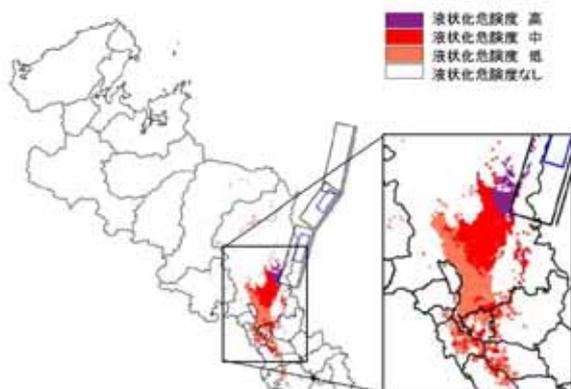


【震度予測結果】(左図・上段)

・震度6強は、京都市北区・上京区・左京区・東山区・山科区・南区・右京区・伏見区および宇治市の一部に分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

・京都市左京区の中南部で液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
京都市	810	30,720	3,780	16,620	142,500	29,290	25,100	3,390
山城広域振興局管内	310	4,790	340	2,000	66,780	7,130	26,510	550
南丹広域振興局管内	20	880	30	300	13,350	2,120	8,110	80
中丹広域振興局管内	0	110	0	10	4,780	540	2,930	0
丹後広域振興局管内	0	10	0	0	1,120	220	920	0
府計	1,140	36,510	4,150	18,930	228,530	39,300	63,570	4,020

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

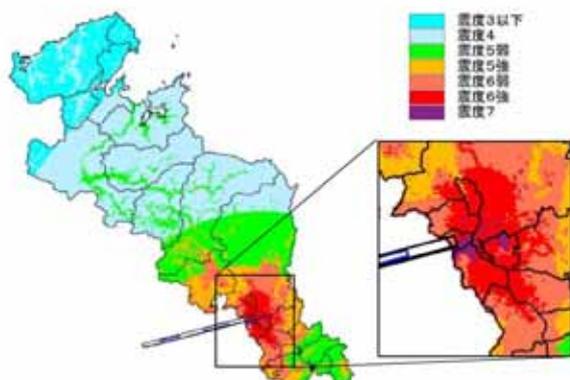
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

有馬-高槻断層(マグニチュード7.2)

断層の位置:兵庫県宝塚市～京都府乙訓郡大山崎町 断層タイプ(変位):右横ずれ

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

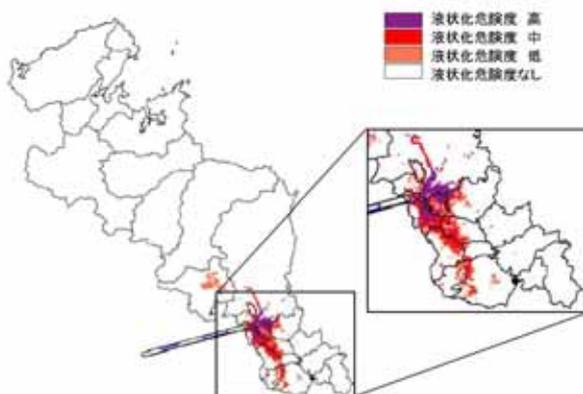


【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度7は、京都市伏見区、長岡京市、八幡市、大山崎町、久御山町の一部に分布する。
- ・震度6強は、京都市南部の市街地から宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、大山崎町、久御山町の一部に分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・京都市南部から河川(桂川、宇治川、木津川)沿いで液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
京都市	500	24,470	2,620	14,640	111,170	8,380	8,010	2,540
山城広域振興局管内	2,290	17,970	2,460	11,490	209,050	39,010	62,450	4,610
南丹広域振興局管内	100	1,470	110	630	19,810	3,380	9,850	230
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	470	80	290	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	2,890	43,910	5,190	26,760	340,500	50,850	80,600	7,380

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

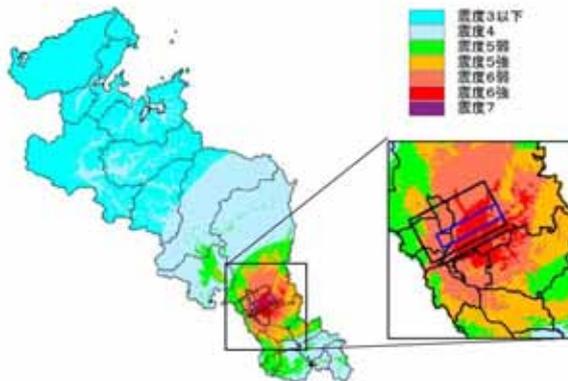
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

宇治川断層(マグニチュード6.5)

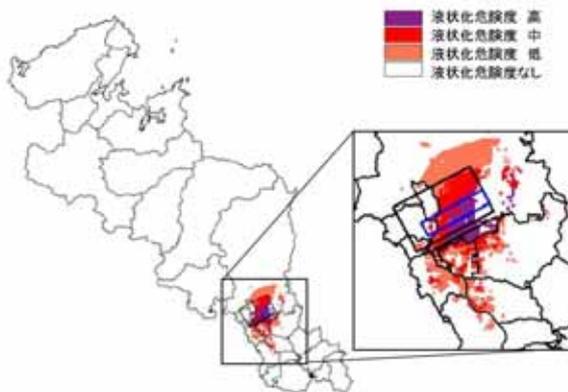
断層の位置: 京都府八幡市～京都市伏見区 断層タイプ(変位): 横ずれ

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。



【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度7は、京都市伏見区の一部に分布する。
- ・震度6強は、京都市山科区・伏見区、宇治市、久御山町の一部に分布する。



【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・京都市伏見区で液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
京都市	700	17,390	1,670	9,390	134,620	12,100	9,720	1,310
山城広域振興局管内	460	5,410	500	2,750	71,390	9,030	25,440	650
南丹広域振興局管内	0	10	0	0	750	50	370	0
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	1,160	22,810	2,170	12,140	206,760	21,180	35,530	1,960

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

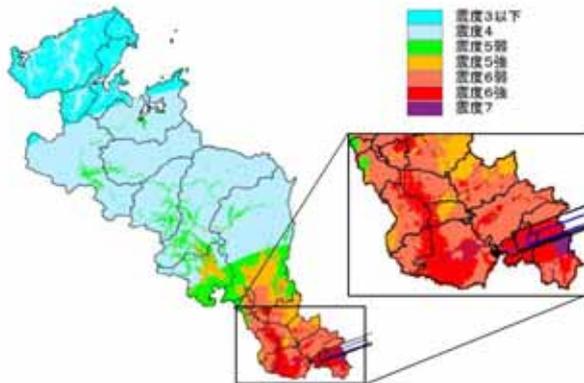
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

木津川断層帯(マグニチュード7.3)

断層の位置: 京都府相楽郡笠置町～三重県伊賀市 断層タイプ(変位): 右横ずれ

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

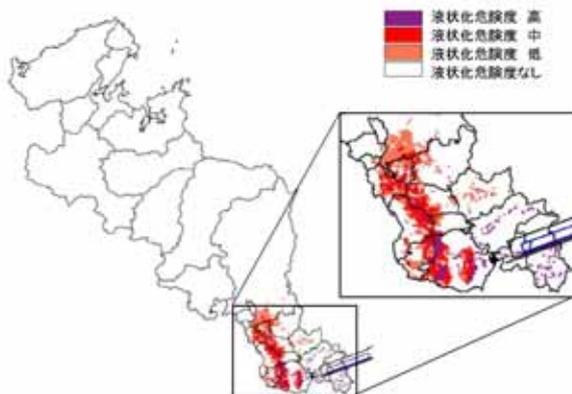


【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度7は、木津川市、笠置町、南山城村に分布する。
- ・震度6強は、宇治市、久御山町の一部と府南部の木津川沿いの市町村に広く分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・府南部の木津川沿いで液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
京都市	140	5,550	170	2,110	86,690	7,580	36,620	100
山城広域振興局管内	1,420	12,760	1,510	7,140	146,840	32,780	50,640	5,950
南丹広域振興局管内	0	120	0	20	2,810	280	1,620	0
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	120	20	70	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	1,560	18,430	1,680	9,270	236,460	40,660	88,950	6,050

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

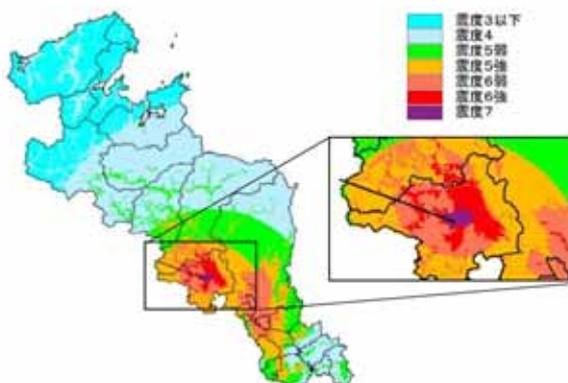
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

埴生断層(マグニチュード6.9)

断層の位置:兵庫県篠山市～京都府亀岡市 断層タイプ(変位):左横ずれ

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

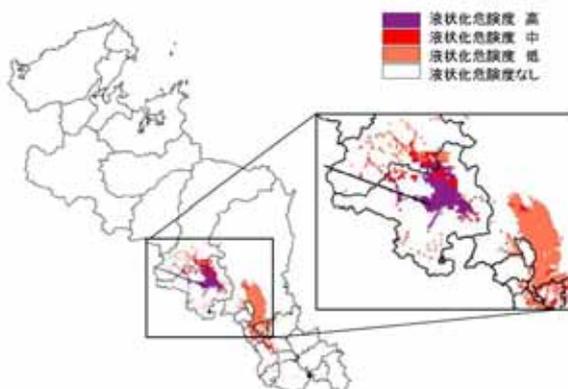


【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度7は、亀岡市の一部に分布する。
- ・震度6強は、亀岡市の平野部と南丹市の一部に分布する。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・亀岡市の平野部と南丹市の一部で液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)	
京都市	710	11,840	780	5,240	164,150	18,760	65,460	490
山城広域振興局管内	190	3,420	210	1,410	49,110	4,610	18,820	230
南丹広域振興局管内	610	4,710	710	3,080	48,960	14,660	17,560	2,770
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	110	20	80	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	1,510	19,970	1,700	9,730	262,330	38,050	101,920	3,490

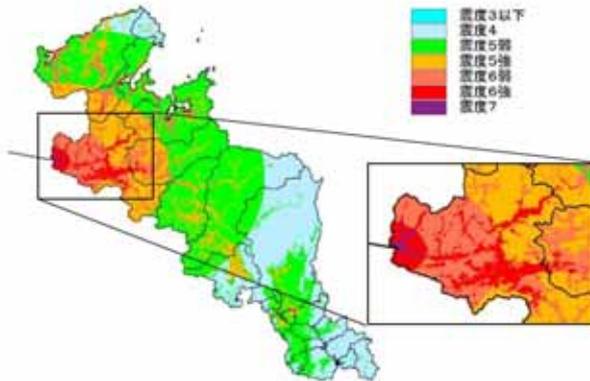
※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

- 山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村
- 南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町
- 中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市
- 丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

養父断層(マグニチュード7.4)

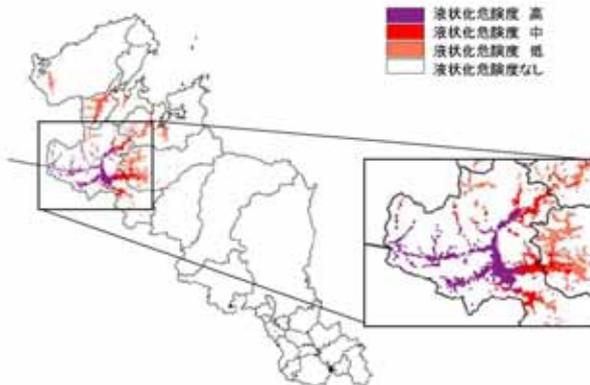
断層の位置:兵庫県養父市～京都府福知山市 断層タイプ(変位):左横ずれ

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。



【震度予測結果】(左図・上段)

- ・震度7は、福知山市西部に分布する。
- ・震度6強は、福知山市の広い範囲と舞鶴市、綾部市の一部に分布する。



【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

- ・福知山市の広い範囲で液状化危険度が高い。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数		要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
		(人)	重傷者数 (人)					
京都市	0	180	0	90	10,960	500	4,750	0
山城広域振興局管内	0	80	0	40	3,370	200	1,370	0
南丹広域振興局管内	0	300	0	60	5,970	1,060	4,600	0
中丹広域振興局管内	590	5,100	680	3,030	59,990	20,550	29,730	3,410
丹後広域振興局管内	140	1,520	140	670	24,840	6,720	18,370	1,480
府計	730	7,180	820	3,890	105,130	29,030	58,820	4,890

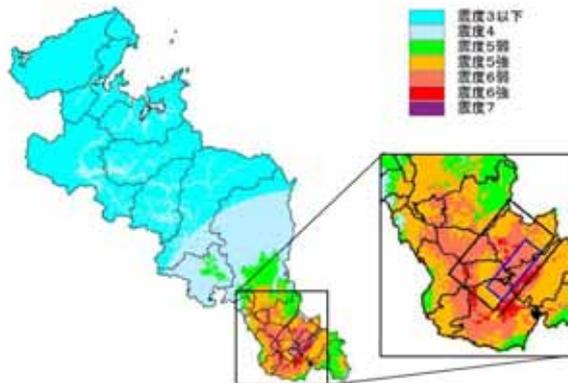
※編数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

- 山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村
- 南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町
- 中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市
- 丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

和東谷断層(マグニチュード6.7)

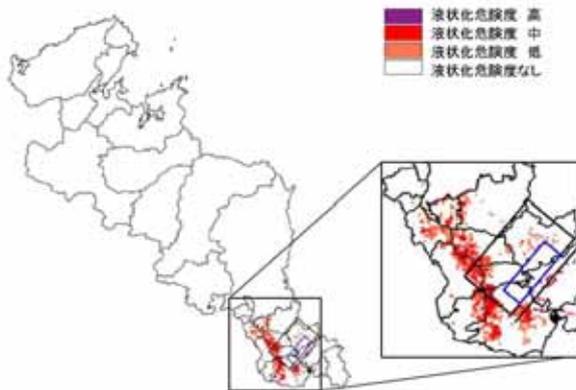
断層の位置: 京都府木津川市～京都府相楽郡和東町 断層タイプ(変位): 北西側隆起

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。



【震度予測結果】(左図・上段)

・震度6強は、京田辺市、木津川市、井手町、宇治田原町、和東町の一部に分布する。



【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

・府南部の木津川沿いで液状化危険度が中位である。



京都府内の行政区界

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)
京都市	10	400	10	210	12,630	640	5,060	0
山城広域振興局管内	400	5,080	460	2,350	64,700	11,610	27,410	2,300
南丹広域振興局管内	0	0	0	0	90	0	30	0
中丹広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
丹後広域振興局管内	0	0	0	0	0	0	0	0
府計	410	5,480	470	2,560	77,420	12,250	32,500	2,300

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和東町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

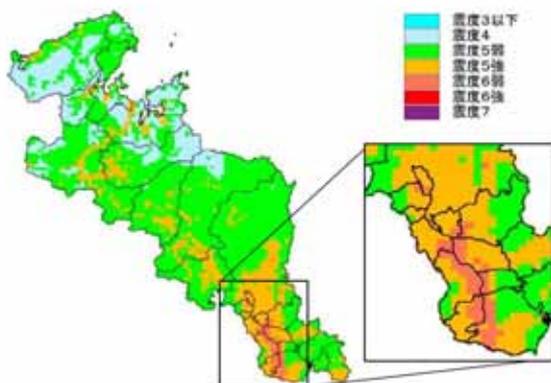
中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

東南海・南海地震(マグニチュード8.5)

震源位置:太平洋(愛知県沖合~高知県沖合)

※今回の想定は一定の条件のもとに推計を行ったものであり、実際の被害は想定より大きい場合があります。

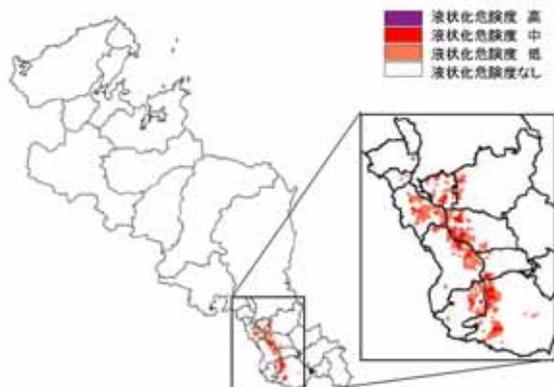


【震度予測結果】(左図・上段)

・震度 6 弱は、京都市、宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、精華町の一部に分布する(震度 6 強以上は現れない)。

【液状化危険度予測結果】(左図・下段)

・府南部の木津川沿いで液状化危険度が高い。



京都府内の行政区

被害数量一覧

	人的被害					建物被害		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	要救助者数 (人)	短期避難者数 (人)	全壊 (棟)	半壊・一部半壊 (棟)	焼失建物 (棟)	
								重傷者数 (人)
京都市	20	3,020	30	930	54,720	4,080	23,940	0
山城広域振興局管内	110	2,950	110	1,030	43,720	4,160	19,010	410
南丹広域振興局管内	0	160	0	30	4,780	740	3,120	0
中丹広域振興局管内	0	90	0	10	5,320	870	3,770	0
丹後広域振興局管内	0	20	0	0	3,010	590	2,040	0
府計	130	6,240	140	2,000	111,550	10,440	51,880	410

※端数処理等の計算誤差により、総括表の数値と一致しないことがあります。

山城: 宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹: 亀岡市、南丹市、京丹波町

中丹: 福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後: 宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

2 京都府の防災力の現況

防災拠点施設の耐震化を進める

公共施設（防災拠点）の耐震改修進捗状況

（平成 19 年度末）

項目	全棟数	耐震済の棟数	耐震率
京都府	684	459	67.1%
市町村	3,898	2,577	66.1%
合計	4,582	3,036	66.3%

公共施設（防災拠点）：地方公共団体が所有又は管理している非木造の 2 階建以上又は延床面積 200 m² 超の建築物のうち、災害応急対策を実施する拠点となる庁舎、避難所となる学校や体育館、社会福祉施設等

学校施設の耐震化を進める

京都府内の学校施設の耐震診断・耐震化の状況

（平成 20 年 4 月）

項目	耐震診断率		耐震化率	
	公立	私立	公立	私立
小学校	98.9%	100.0%	69.2%	81.3%
中学校		7.1%		40.9%
高校	100.0%	40.2%	60.2%	57.4%
特別支援学校	100.0%	-	96.9%	-
合計	99.3%	40.7%	64.0%	57.5%

災害に強い自然環境整備を進める

土砂災害危険区域の指定状況

（平成 21 年 2 月）

項目	警戒区域	うち特別警戒区域
土石流	449 箇所	298 箇所
急傾斜地の崩壊	628 箇所	612 箇所
地すべり	19 箇所	0 箇所
合計	1,096 箇所	910 箇所

土砂災害危険箇所

（農林水産部所管・平成 21 年 3 月）

林地保全	山地災害危険地	山腹崩壊	2,848 箇所
		崩壊土砂流出	2,282 箇所
		地すべり	25 箇所
	なだれ危険地		241 箇所
農地保全	地すべり		3 箇所

土砂災害危険箇所

(建設交通部所管・平成20年4月)

地すべり	地すべり等防止法第3条の指定区域	21 区域
	地すべり危険箇所	58 箇所
雪崩	雪崩危険箇所	687 箇所
急傾斜地関係	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律第3条の指定区域	287 区域
	急傾斜地崩壊危険箇所	3,765 箇所
砂防関係	砂防法第2条指定箇所	1,413 箇所
	土石流危険箇所	5,024 箇所

インフラ（道路、河川等）の整備・耐震化を進める

緊急輸送道路にある法面崩壊等危険箇所 (平成19年度)	192 箇所のうち 未対策 96 箇所
緊急輸送道路にある耐震上問題のある橋梁 (平成19年度)	249 橋のうち 未対策 45 橋
道路応急・復旧・交通対策マニュアルを策定している市町村数 (平成21年2月)	4 市町村

災害に強いライフライン施設の整備を進める

上水道応急対策マニュアルを策定している市町村数 (平成21年2月)	13 市町村
下水道応急対策マニュアルを策定している市町村数 (平成21年2月)	4 市町村

住まいの耐震診断を進める

京都府内の住宅耐震診断取組状況

事業年度	木造住宅	マンション
H16	414 戸	-
H17	622 戸	-
H18	533 戸	0 戸
H19	575 戸	50 戸
H20	403 戸	145 戸

京都府木造住宅耐震診断士の登録者数 (平成20年8月)	1,204 名
建築物耐震診断支援事業を実施している市町村数 (平成21年2月)	22 市町村

住まいの耐震化を進める
住宅の耐震化率の推計

(平成 15 年)

項目	市町村数			
	京都府 全体	京都市 地域	京都府 北部地域	京都府 南部地域
全体	74.2%	77.7%	60.1%	73.9%
木造戸建住宅等	55.1%	52.7%	50.2%	63.4%
その他の住宅	94.4%	94.8%	95.6%	92.6%

建築物耐震改修促進計画を策定している市町村数(平成 21 年 2 月)	24 市町村
建築物耐震改修支援事業を実施している市町村数(平成 21 年 2 月)	10 市町村

府民の防災意識を高めるための広報を行う

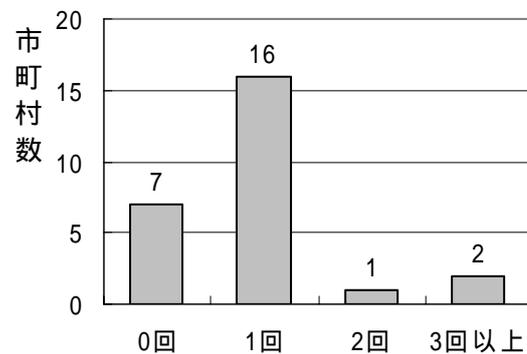
地震ハザードマップを作成している市町村数(平成 21 年 3 月)	9 市町村
-----------------------------------	-------

個人・家庭の防災意識を高める

平成 20 年度の防災訓練の実施状況

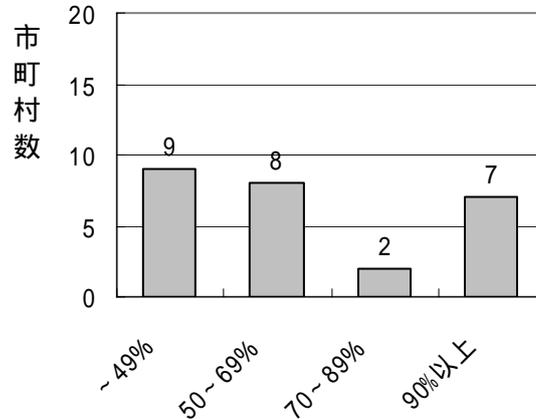
(平成 21 年 2 月)

項目	市町村数			
	0 回	1 回	2 回	3 回以上
防災訓練の実施状況	7	16	1	2



地域の「つながり」を高める

自主防災組織の組織率（平成 20 年 4 月）	87.4%
-------------------------	-------



自主防災組織活動マニュアルを作成している市町村数（平成 21 年 2 月）	11 市町村
自主防災組織に対する支援策を実施している市町村数（平成 21 年 2 月）	21 市町村

災害時の通信手段を確保する

市町村防災行政無線及び消防救急無線の現状

（平成 20 年度）

市町村防災行政無線	同報系	12 市町村
	地域防災系	9 市町村
	移動系	16 市町村
消防救急無線		15 消防本部 (全消防本部)

計画を整備・充実する

東南海・南海地震防災対策推進計画を策定している市町村数（16 推進地域指定自治体） （平成 21 年 2 月）	4 市町村
--	-------

初動体制を充実させる

災害（初動）対応マニュアルを作成している市町村数	16 市町村
--------------------------	--------

NPO・ボランティア（率先市民）と連携する

常設災害ボランティアセンターを設置している市町村数（平成21年2月）	4市町村
------------------------------------	------

防災関係機関との連携・応援体制を強化する 相互応援協定の状況

（平成21年2月）

項目	市町村	京都府
都道府県間・市町村等との相互応援協定		4協定
市町村間の相互応援協定	20協定	
うち他都道府県の市町村が含まれている協定	16協定	
放送協定	10協定	8協定
災害情報・通信協定	8協定	3協定
救急救護協定	28協定	17協定
輸送協定	4協定	6協定
災害復旧協定	49協定	14協定
物資協定	113協定	18協定
避難所協定	27協定	0協定
ボランティア協定	1協定	0協定
帰宅困難者協定	23協定	18協定
消防相互応援協定	20協定	2協定
水道協定	11協定	8協定
郵便局との相互応援協定	11協定	0協定
その他	4協定	5協定

地方公共団体等との相互応援協定については、締結団体数にかかわらず、1協定として算定。その他の協定については、締結相手方の団体数を協定数として算定している。

消防・救出・救助機関の能力を高める

消防の概況

（平成20年4月）

消防一部事務組合数		4	
消防一部事務組合構成団体数		13	
消防本部・署所	消防本部設置数	15	
	消防署数	32	
	出張所数	61	
	消防職員	消防吏員	3,281人
		その他職員	74人
	計	3,355人	
消防団	消防団数	68団	
	分団数	417分団	
	消防団員数	19,087人	

	区分	消防本部	消防団
	消防ポンプ自動車等	普通消防ポンプ自動車	118
水槽付消防ポンプ車		34	8
はしご付消防自動車		33	
屈折はしご付消防自動車		4	
化学消防車（泡消火型）		19	1
指揮車		33	13
消防艇			1
電源・照明車		4	
小型動力ポンプ付積載車		3	625
小型動力ポンプ（車両に積載せず）		165	468
手引動力ポンプ			19
ヘリコプター		2	
排煙・高発泡車		1	
救急自動車		105	
広報車		41	1
空気充填車		1	
資器材搬送車		23	2
クレーン車		1	
小型動力ポンプ付水槽車		2	
防災指導車		3	1
起震車	2		
その他の車両	71		
消防水利	合計		50,490
	消火栓	小計	37,477
		公設	37,075
		私設	402
	防火水槽 （飲料水兼用含）	小計	11,705
		100 t 以上	603
		60～100t 未満	465
		40～60 t 未満	8,984
		20～40t 未満	1,653
	井戸		1,308

京都府内の緊急消防援助隊の登録状況

（平成 21 年 3 月）

消火隊	29 隊
救助隊	8 隊
救急隊	15 隊
指揮支援隊	2 隊
京都府隊指揮隊	2 隊
後方支援隊	11 隊
航空隊	2 隊
特殊災害隊	4 隊
特殊装備隊	11 隊

災害時の医療体制を整備する

D M A T 隊員養成研修受講者（平成 19 年度）	65 人
災害拠点病院数（平成 20 年度）	8 病院
救急告示病院数（平成 20 年 10 月）	93 病院
医療救護計画・対応マニュアルを作成している市町村数（平成 21 年 2 月）	8 市町村

災害時要配慮者を支援する

災害時要配慮者支援の実施状況

災害時要配慮者支援全体計画を作成している市町村数（平成 21 年 2 月）	7 市町村
災害時要配慮者支援名簿を保有している市町村数（平成 21 年 2 月）	26 市町村
災害時要配慮者支援名簿の情報を関係機関と共有している市町村数（平成 21 年 2 月）	14 市町村

孤立地域に対する支援を行う

孤立地域の地区数

（平成 20 年 8 月）

孤立可能性のある集落数（京都府合計）	465 集落
集落中の総戸数（京都府合計）	26,754 戸
通信手段がある集落数（京都府合計）	236 集落
ヘリポートがある集落数（京都府合計）	89 集落

二次災害を予防する

被災応急危険度（建築物、宅地）判定活動の整備状況

被災建築物応急危険度判定士の登録数（平成 20 年 5 月）	1,657 名
被災宅地応急危険度判定士の登録数（平成 20 年度）	392 名
被災応急危険度（建築物、宅地）判定マニュアルを作成している市町村数（平成 21 年 2 月）	5 市町村

被災者の生活物資を確保する
物資の備蓄状況

(平成20年4月)

項目		市町村	京都府
乾パン(食)		350,151	85,952
インスタント麺類(個)		1,000	
米(kg)		21,908	
缶詰主食(缶)		5,796	
缶詰副食(缶)		1,710	
飲料水(リットル)		1,063,050	
ローソク(本)		2,204	20,366
懐中電灯(個)		1,616	
毛布(枚)		99,148	3,331
テント	(張)	293	
	(人)	2,522	
担架(台)		510	30
トイレ(個)		2,887	
浄水装置(個)		124	
被服(枚)		1,020	4,064
医療品セット		279	

安心・安全な避難所運営体制を確保する

避難所運営マニュアルを作成している市町村数(平成21年2月)	4市町村
--------------------------------	------

基幹的社会基盤の代替機能を確保する
給水車及び給水タンク保有状況

(平成20年3月)

事業体名	給水車		給水タンク		移動用車両 台数(台)
	台数(台)	水量(m ³)	タンク		
			台数(台)	水量(m ³)	
市町村	19	45.8	211	180.3	50
京都府			3	6.0	
合計	19	45.8	214	186.3	50

伝統・文化を守る

国宝・重要有形文化財の件数

(平成21年2月)

項目	建造物(棟数等)		美術工芸品	
	重文	国宝	重文	国宝
京都市	201(421)	40(49)	1,636	169
京都市以外	86(165)	8(11)	207	12
合計	287(586)	48(60)	1,843	181

国宝件数は、重要文化財件数の内数である。

京都府指定・登録有形文化財の件数

(平成21年2月)

項目	建造物(棟数等)		美術工芸品	
	指定	登録	指定	登録
京都市	43(174)	6(11)	81	0
京都市以外	55(103)	75(125)	128	36
合計	98(277)	81(136)	209	36

文化財建造物の自動火災報知設備設置状況

(平成21年2月)

	設置義務がある棟数	設置済み棟数	設置率
国指定建造物	549棟	541棟	98.5%
京都府指定建造物	277棟	241棟	87.0%

文化財の耐震化・防火対策の実施状況

文化財管理者の防災訓練を実施している市町村数(平成21年2月)	20市町村
---------------------------------	-------

【耐震化対策の減災効果の算定について】

建物の耐震化対策による減災効果を検討するため、【京都府第二次地震被害想定調査】の『建物被害想定』について、以下の流れで、各市町村の建物の構成が耐震化率90%となるよう条件を変え（破線囲み部分）、『建物被害（全壊・半壊棟数）』、『人的被害（死者数）』、『経済被害（建物資産被害）（家財資産喪失）』の減災効果を算定した（耐震化率80%の場合も同様に算出）。

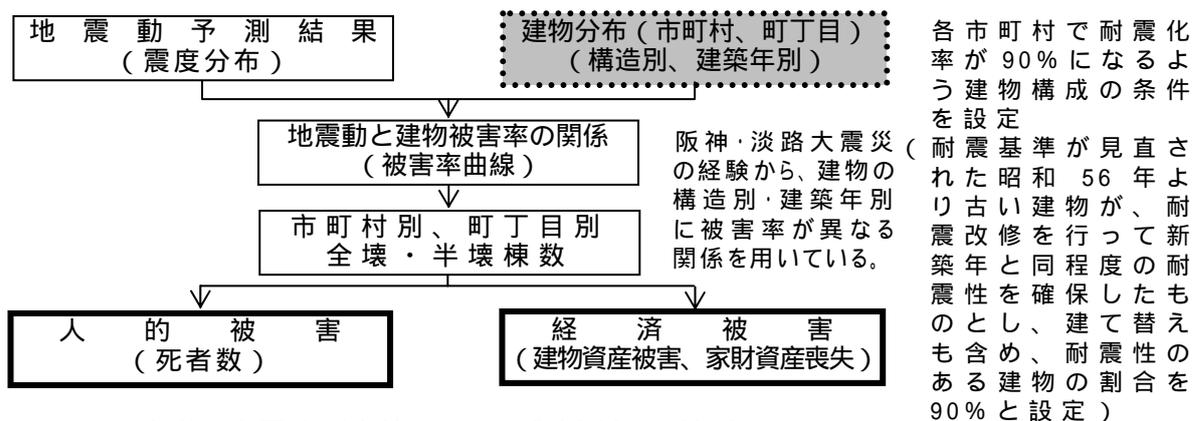


図 建物耐震化対策による減災効果算定フロー

耐震化率

全建物の中で、耐震性がある建物（現行の耐震基準に基づく建物、耐震診断で耐震性ありと判定された建物、耐震改修を実施した建物）の割合をいう。

耐震化率

$$= \frac{\left[\begin{array}{c} \text{現行の耐震基準} \\ \text{に基づく建物} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{耐震診断で耐震性あり} \\ \text{と判定された建物} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{c} \text{耐震改修を実施} \\ \text{した建物} \end{array} \right]}{\text{すべての建物}}$$

耐震基準とは

宮城県沖地震（昭和53年、マグニチュード7.4）等の経験から、昭和56年6月に建築基準法の耐震基準が大幅に見直されて改正施行された。この耐震基準では、設計の目標として、大地震（関東大震災程度）に対しては建築物の構造上の主要な部分にひび割れ等の損傷が生じても、人命に危害を及ぼすような倒壊等の被害を生じないこととしている。

建物資産被害

(全壊棟数 + 半壊棟数 × 0.5 + 焼失棟数) × 1戸あたり平均評価額

ここで、1戸あたり平均評価額は、建築統計年報(平成20年度版)より、平成19年度の京都府の住宅の単位床面積あたりの工事費予定額と住宅1戸あたりの床面積から1戸あたりの直接被害額を次のように見積もる。

$$171(\text{千円}/\text{m}^2) \times 81.4(\text{m}^2) = 13.9(\text{百万円})$$

家財資産喪失

家財被害額は、倒壊棟数 + (全壊棟数 - 倒壊棟数) × 0.5 に対し、1戸あたり家財評価額を乗じる(内閣府:首都直下地震に係る被害想定結果について、第19回資料2、p49,2005)。ここでは家財として自動車は含まない。なお、倒壊棟数については、構造的な大破と考え、全壊棟数 × 0.7 としている。

(全壊棟数 × 0.7 + 全壊棟数 × 0.3 × 0.5) × 1戸あたり家財評価額

ここで、1戸あたり家財評価額は、国税庁の家財の損失額の算定において、家族構成別家財評価額により計算する方法から1戸あたり家財評価額を10.89(百万円)と見積もった。

表 家族構成別家財評価額

世帯主の年齢(歳)	夫婦	独身
~ 29	500万円	300万円
30 ~ 39	800万円	
40 ~ 49	1,100万円	
50 ~	1,150万円	

(注)夫婦又は独身者以外の大人(年齢18歳以上)1名につき130万円、子供1名につき80万円加算

表 世帯主の年齢別の世帯比率

世帯主の年齢(歳)	世帯比率
~ 29	0.028
30 ~ 39	0.106
40 ~ 49	0.114
50 ~	0.423
独身(单身)	0.329

(平成17年度国勢調査結果から算定)

